



**●Tackle Guide**  
 中オモリ 10号、ハリス4~6号で長さ4メートル。中オモリの重さは糸の立ち具合、ハリスの長さとは的確なタナ取りに直結するため統一している。タナは海面から餌木までの距離なので、道糸の最初の色を10メートルにして、そこからハリス全長分の4メートルをカットしてして中オモリに結びと正確にタナを取れる。

**全員安打達成**  
 全員がアオリイカを釣り上げたあと、一ノ瀬さんが、「みんな釣ったから記者さんもやってみなよ。シャクったときにドスン! と竿を止めて、薄暗くなってきたから餌木は背色はオレンジで腹色は赤テープがいいよ。」

数回の流し変えのあと、左舷ミヨシの谷口さんの竿がシャクった直後に止められる。上がってきたのは800グラム級。続いて一ノ瀬さんが同サイズを釣り上げる。二人は雲が広がり薄暗くなってきたのでアピール力の高い金テープの餌木に替えたところ乗ってきたという。

「船中で最後まで釣れないことはよくあるのでプレッシャーは感じていません。お気に入りの餌木を信じてシャクリ続けていればそのうち乗りやすから」との言葉どおり、すぐに600グラム級のアオリイカを釣り上げたと思ったら、立て続けに同サイズをキヤッチ。「餌木がハマると連発することがあるんです。1杯釣れてすぐに再投入したら連発しました」とバタバタフットが付いた餌木を見せてくれた。



▲タマヅメに釣れたアオリイカは2杯

これで私は3連チャンだからと言っておすすめめの餌木を見せてくれた。釣れている人の餌木のカラーに合わせれば間違いないと、赤テープの餌木をチョイスして釣り始める。「餌木を跳ね上げてアオリイカにアピールさせるので、シャクリの大きさや強さよりも鋭くシャクることを心がけて」と船長からアドバイス。しかしシャクったあと穂先に道糸が絡まってしまふ。それを見ていた船長は、「竿を折らないように気を付けてね。スパッとシャクったら、すぐに竿先を海面付近まで下げると道糸が絡まりにくくなるよ」と再びアドバイスをくれる。5秒間隔でシャクリ続けると、突然ドスン! と竿先が止められる衝撃と根掛かりを

「25(メートル)でやってください」と合図が出たら素早く餌木を前方に放り投げ、クラッチを切って餌木を沈める。タナを取ったら餌木が沈み切るのを待ち、シャクリを開始。当日はアオリイカの常連さんがそろい、4人が全長1.3メートル前後の専用竿を使っている。短竿はアオリイカに乗ったときの衝撃がダイレクトに伝わる面白さがあるという。

**●船宿information**  
 南房洲ノ崎港  
**佐衛美丸**  
 ☎0470-20-8003  
 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=アオリイカ乗合(水付き)、要電話確認  
 ▶備考=午後船8名限定、予約乗合。13時集合、集まり次第出船。午前船はキントキ&根魚五目へ出船

「今年には台風の影響で新子のイカが減っちゃって数は少ないけど、全体的に型がそろっていますよ。12月になればさらに型がよくなってくるはず」と船長は期待を込める。アオリイカに乗ったときのドスン! という手応えとグインと引くジェット噴射は想像以上にパワフルだった。皆さんもぜひ味わってほしい。

1~5杯とますます。「今年には台風の影響で新子のイカが減っちゃって数は少ないけど、全体的に型がそろっていますよ。12月になればさらに型がよくなってくるはず」と船長は期待を込める。アオリイカに乗ったときのドスン! という手応えとグインと引くジェット噴射は想像以上にパワフルだった。皆さんもぜひ味わってほしい。



▲洲ノ崎沖のアオリイカは今シーズン良型主体に釣れている

今シーズンのアオリイカは各地で盛況だ。10月より内房や三浦半島、相模湾で開幕し、11月になると東京湾や南房でもスタートして釣り場が広がった。東京湾の様子は前号の特集でお伝えしたとおり。今回は南房のアオリイカ模様をお届けするため11月11日、南房洲ノ崎港の佐衛美丸を訪れた。

関東周辺のアオリイカ乗合はティップランエンジンと中オモリ式の餌木シャクリの2通りある。佐衛美丸は後者で、中オモリを介した仕掛けをタナまで沈めて定期的に餌木をシャクリ続けるシンブルな釣り方。エンジン流しで糸を立て、アオリイカが集まるポイントを狙う。



▲12月は1キロオーバーも期待大

当日は13時に私を含めて6人が集まり、準備が整ったところで13時半に出船。私は右舷の間に入る。釣り場は洲ノ崎沖の水深30メートル前後でポイントに着くと皆さん中オモリを竿先におろして構え、開始の合図を待っている。

「いきなり1キロ級」  
 当日は13時に私を含めて6人が集まり、準備が整ったところで13時半に出船。私は右舷の間に入る。釣り場は洲ノ崎沖の水深30メートル前後でポイントに着くと皆さん中オモリを竿先におろして構え、開始の合図を待っている。

**知得! Tips and Tricks**  
**餌木は3.5~4号のノーマルタイプ**

餌木は速く沈むディーブタイプ、ゆっくり沈むシャロータイプ、30~40グラムのシンカーが付いているティップラン用など色々なタイプがあるが、餌木シャクリでは3.5~4号のノーマルタイプの餌木を使う。重さ18~25グラム、沈下速度は約3~3.5秒で1メートル沈むものが適している。

▲餌木用スナップで後続する

●南房洲ノ崎港発! 洲ノ崎沖  
 本誌編集部/近田憲男 Norio Chikuda